



## 現地の学生たちに数学を指導 青年海外協力隊員としてマラウイへ

12月12日(月)、JICA青年海外協力隊員として南アフリカ・マラウイに派遣される橋鷹清一さん(下大利在住)が1月の出発を前に市長を表敬訪問しました。

橋鷹さんは、塾での講師経験を生かし、「現地の人の役に立ちたい」と参加を決意。派遣されるバラカ中高等学校では、数学を週10単位程度担当するなど、現地の理数科教育の向上を目指します。

亜熱帯気候の国でありながら、高原地帯のため過ごしやすいというマラウイですが、市長から「水や食事などは大丈夫?」と心配されると、「いろんなことが経験になります」と笑顔で答えていました。



## 諦めないことが大事! 有森裕子さんによるランニング教室

12月18日(日)、バルセロナオリンピック・アトランタオリンピックメダリストの有森裕子さんによるランニング教室がまどかパークで行われました。

武道場で行われた開会式では、有森さんがこれまでの体験を通しての苦労や物事を諦めない気持ちの大事さについて話し、子どもたちは真剣な表情で聞いていました。その後、多目的グラウンドでスポーツの基礎となる正しいウォーミングアップ方法や走り方について実技指導を受けました。会場からは「勉強になる」という声がたくさん聞こえてきました。

ランニング教室に参加した子どもたちは、走ることへの意識が変わったことでしょう。



## 大野ジョーがPRします ご当地ナンバープレート決定

“大野城らしさ”を多くの皆さんにPRするための、大野城市オリジナルご当地ナンバープレートが決まりました。

12月に実施した市民投票の結果、古代山城のイメージと「大野ジョー」がデザインされ、曲線のある独特な形状の作品が最優秀賞に選ばれました。今年6月には、このナンバープレートを付けたバイクが街を走ります。(3ページに掲載)



### 大文字

宮城県沖を震源とした大地震により被害を受けた地域で、海岸近くに位置しているにも関わらず全員が迅速に避難し、「釜石の奇跡」と呼ばれた釜石東中学校へ、昨年の終わりに、市と区長会が協力して地域で行われる餅つき大会で市民の皆さんが気持ちをこめてついた餅を、子どもたちの寄せ書きとともに送りました。また、餅と一緒に大野城市電友会からは子どもたちが勉強できるようにと教材と目録が贈られました。

この取り組みは、釜石からさまざまな減災への取り組みについて学ぶにあたり、お礼の気持ちと新しい年が復興元年となるよう、市と各区が協力して行ったものです。

いつ何が起こるか分からない時代です。広報やホームページを見て避難所の確認やハザードマップなどの防災に関する知識を蓄えて災害が起きた際、対処できるように準備を万全にしておきましょう。

